

明るく元気の出る町

平成9年1月1日発行・毎月1日 編集・発行／秋田県東由利町役場企画課

広報

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

1997 1

NO.502



「私たち三代牛年、
モウ太くんと一緒にがんばるぞ」

谷口幸子、広美、真梨さん

水稻の作柄状況102の豊作

12月
議会定例会

第七回議会定例会は十二月十六日に招集され、全案件を原案どおり可決しました。

十六日の本会議では、阿部幸悦町長の行政報告、五氏の一般質問の後、議会の議員の報酬の一部を改正する条例など八議案を原案どおり可決。翌十七日から委員会審議を行い、最終日の十九日一般会計補正予算など五議案を原案どおり可決、閉会しました。

町長行政報告

相互理解・友好親善果たす

秋田県と友好都市の関係にあるハンガリーの首都、ブタペストにおいてハンガリー建国千百年記念行事の一環として、「秋田の日」が設定されました。県町村会内の「秋田県国際交流町村長連盟」でも友好交流を深める視点から訪問団を組織して応援参加することになり、その団員の一人として参加しました。

人口三万人の自治体視察や「秋田の日」のイベントへの参加を通じ、政治経済の相互理解・友好親善などの目的は十分果たせたと考えております。こうした国際交流への参

加に理解を示してくださった議会や町民の皆様に感謝申し上げます。

下水道工事順調に進む

今年度より着工の老方館合地区の農業集落排水事業は、降雪前にバス路線等の完了を目標に四工区に分けて施工しています。工事は順調に進んでいるところです。

十二月十二日現在の進捗率は四千五百六十八戸の内、二千五百二十三戸が完了し、五・二二%になっております。

湯楽里利用十七万三千人余り

黄桜の里は昨年十一月九日に開業して、丸一年が経過しました。湯楽里が十六万二千七百五十人（一日平均四百八

十人）、やしおが九万五千九百二十三人（一日平均二百八十三人）稼働日数三百三十九日となっており、十四日現在の湯楽里利用者数は十七万三千四百十人です。

地場産業センター杭打ち終了

十一月十二日に起工式を行い、着工、工事を進めてまいりました地場産業センターは、スケジュールどおり杭打ちを終え、現在基礎の鉄筋工事の作業中であり、予定された年内工事は順調に進んでおります。テナントとして入られる方の内装工事についても、設計業者との話し合いを持つなどして進められております。

正月に出稼者が無事帰省を

十二月一日現在の出稼ぎ者数は、百七十名で昨年より二十一名減少しています。就労先は、関東地方に百四名、東海地方に三十一名、近畿地方に二十名、その他地方に十五名となっています。

長野県の土石流事故もあり、出稼ぎ者所在確認を行い無事を確認し、正月には無事に帰省してほしいと全員に挨拶状を出したところであります。

土地改良関係事業は概ね順調

津沢地区圃場整備事業については、関係受益者から百分の施行同意をいただき、土地改良法の手続きに入っております。

県営土地改良総合整備事業については、耕作道一号（塚の越）など計四本で、事業費は一億七千万円になっております。老朽溜め池利活用保全施設整備事業（大堤道路）については事業費六千七百万円です。

豊作だった水稻状況

水稻の作柄状況は十月十五日現在で、一〇二（五百八十一畝）JAの見込みでも一〇二・一〇三です。

米の集荷状況は十二月六日現在、十四万五千五百四十六袋です。

ミニトマトは〇・一五七の影響により一・三%販売減少しており、千二十八坪の作

付け増と比較すると大幅な単価安による収入減でした。このため八月一杯と九月上旬、下旬の販売分には、価格補給金が青果物価格安定基金協会から交付される見込みとなっています。

円滑な冬期交通確保を

今年度も県、町において、昨年同様百三十八・七歳の幹線道路の除雪と十八・六歳の歩道除雪を行うとともに、その他路線で除雪可能な生活関連道路の除雪を実施し、円滑な冬期交通確保をはかります。

大台冬期分校について

大台地区の児童数は八名でありますが、昨年同様本校通学しております。

地元からの要望により、平成六年度から本校通学を実施しておりますが、大琴小学校の児童数の状況や除雪体制が整備されたことから、冬期分校の必要性がなくなったのではないかと考えられます。地元とも協議しまして、今年度をもって廃止したく、三月定例議会に廃止の条例を提案したいと考えております。



▲議会定例会

一般質問

工藤実議員

①岩館バイパスの進捗状況を
②同バイパスの岩館地内から
のアクセスは③現道岩館地内
の除雪対策は④六沢堤の環境
整備について⑤由利牛の町と
しての今後の振興策は⑥ミニ
トマト農家に支援は

町長

①平成九年度測量着工できる
よう強力に陳情をしている。

県も最優先地点にしていると聞いている。②計画では北の城からと提示されている。③充分な初期除雪、融雪剤散布、排雪を行い事故防止をはかりたい。④八塩ダム開発との兼ね合いもあり、両地区の連携を図りながら考えたい。⑤畜産経営環境整備事業なども施策しながら由利牛の里推進に努めたい。⑥青果物価安定基金などの発動もある。

小松悌之助議員

①下水道の進捗状況は②下水道最終処理場については③学校再編への対応は④県植樹祭の候補地に立候補の考えは⑤地域活性化拠点施設整備計画第二期事業の今後の対応は

町長

①順調に進んでいる。工程管理も打合せを密にしている。②環境に充分配慮をして、地権者、地元自治会の理解を得ながら場所を選定する。③将来を心配しながら考えていきたい④十年、十一年頃に、八塩整備計画にあわせて立候補できればと考えている。⑤第一期事業を完了させてから、改めて議論をする。

佐藤萬一議員

①交流人口に対応した観光態勢は②地場産業を目指した梅の里づくりの事業化は③シルバーセンター的なシステム作りは④少産少子化対策については⑤出羽丘陵開発事業の災害後処理は

町長

①八塩地区の再開発を中心に、議論を重ねていきたい。②新たな産品としてとらえながら考えていきたい。③町単独ではなかなか難しい。④晩婚、未婚問題にもつながる重要な問題。議論を重ねて勉強していきたい。⑤県営、補助、町単などで対応している。受益者の協力も不可欠。

小野健議員

①知事の即時退陣を②情報公開条例の制定を急ぐべき③消費税増税中止を④減反による農家経営に対する対応は⑤国有林野事業民営化移行の阻止⑥福祉医療の切り捨てに対する考えは⑦熊保護のための対応は⑧野菜直売所への援助を

町長

①年度内辞任と理解している。②十分な情報収集をしながら検討していきたい。③決定したものと理解している。④米のみに偏重しない施策誘導を推進したい。⑤緑を守る視点と行革のからみもある。⑥そうならないようにしてもらいたい。⑦緊急避難措置であった。⑧地場産業センターと両方が共存できるように調整して考えていきたい。

小松久徳議員

①不法投棄物の撤去を②ミズバシヨウの保護対策を③国際結婚に支援を④台山線（館合農協売店前）跡見坂）歩道整備を⑤福祉道路整備状況と未着工分の今後の整備は

町長

①処理場確保、パトロール等にはしているが不法投棄はなくならない。ご協力を。②群生地との把握につとめたい。③側面支援を考えたい。④整備をしていきたい。⑤必要、緊急と思われる箇所は積極的にやっていきたい。

可決された主な議案

補正予算（十九日）

一般会計に八千六百万円追加

一般会計に八千五百七十九万一千円を追加し、総額を四十六億七千九百九十九万九千円とする。主なものは次のとおり。
▼簡水特別会計繰出金一千四百十二万二千円▼官行造林契約の解除に伴う普通財産取得費一千六百七十万四千円

国民健康保険事業勘定特別会計に六百六十三万三千円を追加し、総額を四億五千四百一十二万二千円とする。

簡易水道事業特別会計に一千八百二十六万三千円を追加し、一億八千八百十五万七千円とする。

特別養護老人ホーム東光苑特別会計に二百六十一万一千円を追加し、二億四千四百五十三万三千円とする。

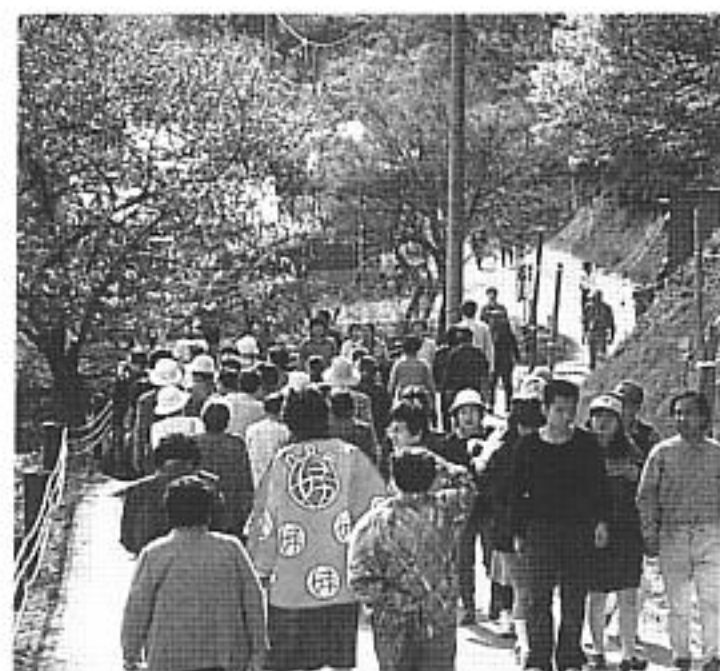
農業集落排水事業特別会計に四十三万六千円を追加し、六億一千七百六十八万八千円とする。



▲町議会議員選挙 (7月)



▲平成8年度敬老会 (6月)



▲第12回黄桜まつり (5月)

平成8年度を

振り返って

こんなことがあった一年でした

一月

- 5・21・新春町政座談会 湯楽里、地域課題に話題が集中。
- 5・町教育長に小笠原諒治氏就任
- 6・消防出初式 (げんき館) 二百三十人参加 一年の無火災を祈願。
- 16・葉たばこ収納作業 (増田町・日本たばこ増田葉たばこ取扱所) 販売総額一億四千八百四十八万七千円、十アール当たり平均価格五十八万円。

二月

- 3・4・第十二回大雪まつり 二千五百人でにぎわう。
- 8・9・子牛市場 (本荘市・広域由利家畜市場) 九十九頭上場 (内八十六頭) 一頭当たり平均価格三十八万一千九百二円。
- 18・町スポーツ祭 (健康増進センター) 綱引きで新町自治会総合優勝。
- 29・黄桜温泉「湯楽里」入湯者五万人 (善徳・佐藤トミさん)

三月

- 6・19・第一回議会定例会 平成八年度一般会計予算三十八億六千三百九十二万七千円 小松正昭収入役退任に伴い、佐藤知泰氏選任。
- 15・町スポーツ栄誉賞、芸術文化奨励表彰式 (有鄰館) スポーツ栄誉賞では四個人一団体が、芸術文化奨励賞では六人が表彰。
- 25・秋田県選抜雪上野球大会 (勤労者野球場) 八チーム参加。
- 26・本町の女性農業士 (蔵新田・小野明子さん)

四月

- 4・大琴、高瀬、八塩小学校入学式
- 5・東由利中学校入学式
- 12・黄桜温泉「湯楽里」入湯者七万人 (新町・畑山すみさん)
- 16・黄桜の里が道の駅「東由利」として登録
- 24・東光苑十周年記念式 入居者、来賓、家族等らが出席。
- 26・自治会長会議 (有鄰館) 自治会長に感謝状

五月

- 18・19・第十二回 黄桜まつり 好天に恵まれ、まつり両日で二万六千人が来場。
- 19・浅野竹美さん「日本民謡フェスティバル (東京NHKホール)」でグランプリ受賞
- 26・八塩山ふれあい登山 町内外から三十三人が参加、八塩自然を満喫。
- 26・東京東由利会 (東京都北区赤羽会館) 百三十七人出席、民謡同好会、浅野竹美さんが民謡披露。

六月

- 6・10・第二回議会定例会 地場産業センター建設に向け関係補正予算。
- 12・黄桜温泉「湯楽里」入湯者十万人 地下ノ沢・長谷山直人さん
- 20・平成八年度敬老会 四百八十六人のお年寄りが元気に出席。
- 21・第四十一回 町畜産共進会 (畜産広場) 肉用牛など六十九頭が出陳。
- 23・第三回東由利町スポーツ祭 (台山グラウンド) 千四百人参加、競技に汗。さなぶり民謡フェスティバル (健康増進センター) 七百人が歌を楽しむ。

七月

- 7・町議会議員選挙 現職十人、新人六人、十六人の新議員誕生 投票率九三・七四%に。
- 13・畑地区町政座談会
- 21・東由利町消防訓練大会 (げんき館駐車場) 総合で第五分団優勝
- 22・三十二回由利畜産共進会 (本荘市) 団体総合、肉用牛の部で優勝。
- 23・臨時議会 議長に阿部剛議員、副議長に梅津栄一議員が選任。

八月

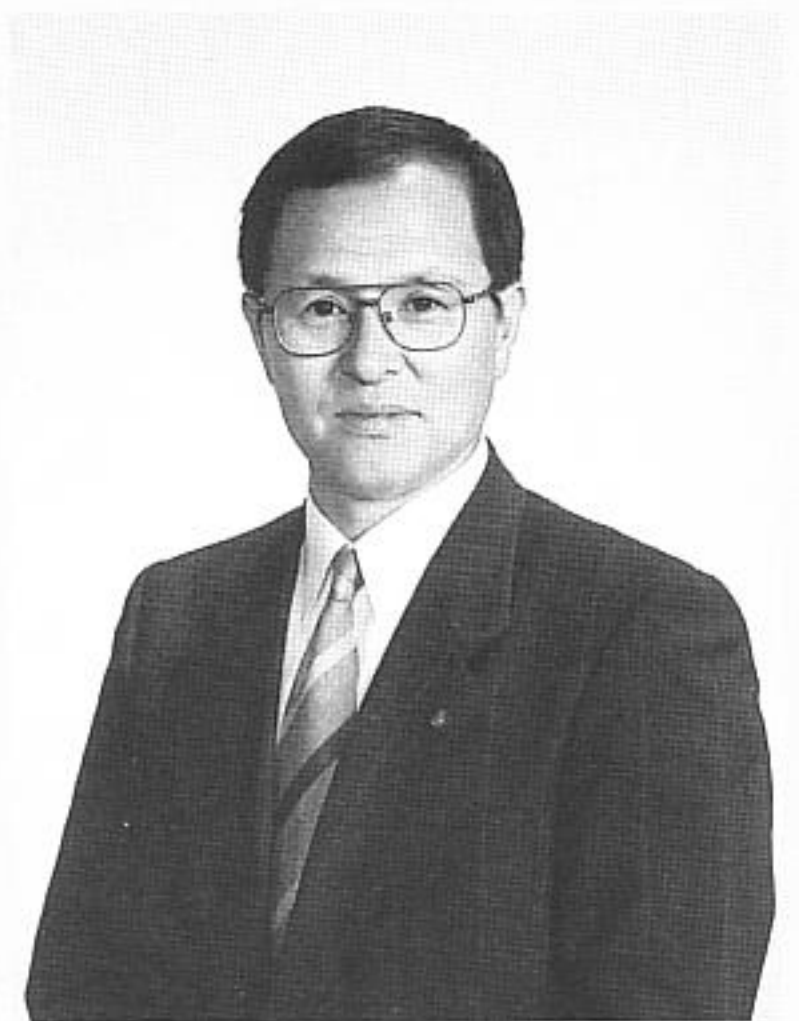
- 15・町成人式 (有鄰館) 七十六人が大人の仲間入り、六十五人出席。
- 16・17・第三十八回 社会人野球大会 (勤労者野球場) パワーズが優勝。
- 20・町戦没者追悼式 (有鄰館) 町出身戦死病没者三百十二柱の御霊に祈りを。
- 21・臨時議会 一般会計補正予算
- 25・町民スポーツ祭 (町民グラウンド) 三百六十人ゲートボールに汗 優勝は新町B。
- 31・米松三兄弟ふるさとを唄う (健康増進センター) 町民約七百人集まる。



第4回東由利音楽祭 (10月)



▲一年中にぎわった道の駅



町長日記

新年のご挨拶

阿部 幸悦

新年明けましておめでとうございます。

昨年は我が町にとって総じていい年でありました。春先の低温で二年続きの不作かと心配された「あきたこまち」も八月からの異常とも思える好天に恵まれ、作況指数一〇二という豊作でありました。食味計でも八〇以上の数値がザラに出たということです。

「由利牛」も平均販売価格が三十九万を越え、販売頭数では昨年よりかなりの減少となりましたが、総販売代金では昨年より百万円しか減額になりませんでした。

畑作も健闘しました。例の〇一五七の影響もあり価格面では残念なことでしたが、ミニトマトはパイプハウス面積が千坪も増え、大変な勢いで伸びました。

交流拠点の「黄桜の里」も

十一月で一周年になりましたが、私たちの期待以上の活用がされました。入湯者だけで十七万人を数えたということがあります。町内は勿論であります。町外のみなさんにも本当にいい施設だ、いいお湯だといわれました。そしてまた人的サービスがいいといわれました。ますます期待に応えて行かなければと思ったところです。

道の駅の一角に設置された農協婦人部の皆さんの野菜の即売所もなかなか好評でありました。

また新しい財産も増えました。小松兄弟音楽会から誕生した混声合唱団「コールゆり」がハンガリー国建国千百年祭に招待をうけ、民謡同好会の皆さんと一緒に渡航したことあります。視察研修で海外に、ということとはよく聞

くことであります。現に私も、それで秋田県町村会の一員としてハンガリーに行かせてもらいました。しかし歌を唄うために海外へ、とはあまり聞いたことがありません。好評を博したと報告をうけました。特に民謡の評価が素晴らしいものであったといえます。

高橋宏幸賞も第五回になりましたが全県から二千六百七十八人の幼児・児童からの作品の応募がありました。これも大きな財産になってきました。高橋先生の協力に感謝をしたのであります。

歴史は過ぎ去らない、積み重なるのだといえます。いろいろなことを積み重ねて新しい平成九年が始まります。東由利町にとっても、皆様にとっても良い年になりますことを心からご祈念申し上げて新年のご挨拶と致します。

九月

- 4・6・第八十五回秋田県畜産共進会（河辺町）肉用牛の部で佐藤貴志さん（八日町）のますこ1号が優等賞を受賞。
- 6・20・第五回議会定例会 教育委員に小松順之助氏七年度決算認定。
- 13・合同金婚式（有鄰館） 今年は一三六組を招待、三十一組が参加。
- 18・第二十回全県野焼きを楽しむ集い（八塩いこいの森陶芸愛好家約百二十人参加）。
- 29・倉地内でオス熊が仕留められる。

昭和五十四年十一月九日に須郷田でオス熊が仕留められて以来十七年ぶり。※農業集落排水事業着工

十月

- 11・16・町民海外研修（中国）東由利町からは九人が参加。
- 20・第四十一回衆議院議員総選挙および最高裁判所裁判官国民審査衆議院選挙で七三・四五（前回を八・八三ポイント下回る）。
- 27・大台地区町政座談会（大台分校）大台地区住民約二十人参加する。
- 27・第四回東由利音楽祭（東由利中学校体育館）近隣四市町村のコーラスグループを含め約三百五十人参加。
- 29・平成八年町功労者表彰式（有鄰館）小松慎一氏、小松當子氏の二氏を表彰、自治功労章が五氏に贈られる。

十一月

- 2・3・産業文化祭 天気に恵まれ両日で五千五百人が訪れる。
- 5・13・ハンガリー親善交流演奏旅行コールゆり、民謡同好会一行三十人がハンガリーで演奏会を開く。
- 5・第六回議会定例会 農業・土木災害などに補正予算。
- 9・道の駅、黄桜の里一周年
- 12・地場産業センター起工式

十二月

- 16・十二月議会定例会
- 18・東光苑クリスマス会
- 20・大平スキー場開き
- 22・第五回高橋宏幸賞表彰式



▲第5回高橋宏幸賞表彰式（12月）



「我、中国の大地を踏む」

海外レポート1

東由利町 大内町 合同海外研修

日本の良さ、 中国の良さを実感した旅

東由利町・大内町合同海外研修が十月十一日から十六日までの六日間の日程で行われました。

今回の研修に参加したのは、両町から十五人で、本町からは男性九人が参加しました。中国の生の文化に触れた参加者たちは、食生活、文化、習慣の違いなどに戸惑いながらも、日本の良さ、中国の良さを実感したとレポートにまとめていました。

(敬称略)

全日程

- 10/11 秋田→羽田→成田→北京 飛行機を乗り継ぐ
- 10/12 北京→大連へ 大連にて花き栽培視察
- 10/13 大連市内視察(老虎灘、大連港など)
- 10/14 北京市内視察(故宮、天安門広場、北京市少年宮など)
- 10/15 北京郊外視察(八達嶺、万里の長城、明の十三陵、定陵など)
- 10/16 北京→成田→羽田→秋田 (到着後、解散)

団長メモより(小松恵治)

戦後五十一年、日中間の悲惨な歴史がある中国の方たちが我々をどう迎えてくれるだろうか、不安と期待を胸に抱きながら、一行十五名を乗せたCA926便は十月十一日、十四時五十五分成田空港を北京に向かって離陸。

十二日、北京から飛行機で約四十分で大連(旧満州)に着陸する。大連市の人口は約二百五十万人、緑が多く、北京に比べて自転車が少ない。重工業(造船)と観光の町でもある。農産物が安く、医療品が高いという。露店の床屋があちこちに見られる。

国営の花弁公司では、市の緑化のための栽培、公的行事、会議などへの提供が殆どであり、利益はあまりない。面積は約二畝で菊鑑賞用の植物などが多く、自然に栽培されている物が多い。

十三日、大連市視察。大連港は、一八九九年に造られ一万七以上の船舶がいつでも出入り可能であり、重要な貿易港であり、また温帯海洋性気候に属し、平均温度が二十四

本当に中国の玄関かと訝る

中国の第一印象

ターミナルのロビーは「日本人いらっしやい」と言わんばかりに掛軸が所狭しと掲げられていた。

場内は薄暗く、異様とも思えるキーの高い係員の会話、人を睨みつけるような目付き、何よりも今まで嗅いだことのない異臭(消毒液の様な)。何回か目をこすっては「本当に国際空港、中国の玄関か」と訝った。(長沼久利)

車の排気ガスで町の明かりが薄暗く、車のクラクションがひっきりなしに鳴らされて、とてもうるさい所だと思った。

(八嶋浩)

走っている自動車のほとんどは、黒い排気ガスを出して走っており、車の排気ガスと、日本には春を告げに来る黄砂のような砂が常時舞っており、そのせいで視界が利かないようでした。車もほこりと砂で白くなって走っていました。

(小松信記)

街路では麻雀をする人々が

北京の印象について

市内の人、自転車、車の多さにびっくり。同時に建物が多さが目につきました。ホテル、会社より住宅の高層ビルが多かったことです。テレビ

で見ると中国と同じ、全く予想通りの市街です。テレビ、新聞、電話が普及していないためか、街路で床屋、路肩でのトランプ、麻雀という風景が広がっていた。(横山澄夫)

皇帝の絶対制を間のあたりに

故宮の印象

大和殿上から大和門を見渡すと、視野の範囲にすべてが納まり、顔を動かさず見渡すことができる。

ここに皇帝が立ち文武百官が集まった様を想像すると、すべてが皇帝の為にあるというのを間のあたりにする事ができ、当時の権力者の絶対制が強く感じられた。

(佐藤守)

販売態度、姿勢に敬服

10/13

大連市民市場の印象

地下にある生鮮売場は開店
はしつとも至る所工事中で、
そんな中、海産物の通路は泥
土の状態。しかし、想像を裏
切って「氷」「冷蔵庫」「照
明」「活魚水槽」などの普及
は意外だった。そして販売態
度、姿勢には敬服した。

(長沼久利)



▲大連にて記念撮影を

言葉で改めて中国を実感

10/13

大連市の印象

野菜、果物、肉、魚介類そ
の他多数の食品が豊富であつ
た。市場の店員の対応が日本
並に親切であり、空港の売店
の対応の悪さとか、国営店の
対応の悪さにならされてか、
温かみを感じた。(佐藤守)

高層ビルの建設ラッシュで
二十階以上のビルがあちこち
に見えました。しかし、安全
対策は日本では考えられない
程粗末なものでした。二十階
位のビルでも、足場は丸太の
長木や、単管だけで手摺や安
全ネットなどはほとんど見え
るところはありませんでした。

一つのビルができるまでに数
十人の人が死ぬことがあるそ
うです。(八嶋浩)

中国では、新都市でしょう
が、我が国から見るとこれか
らにも見受けられます。海と
山というより海と街という大
連でした。(横山澄夫)



▲大連の街並み

ビルの谷間の花畑に驚き

10/14

大連花き栽培の印象

中国の広大な花畑をイメー
ジしておりましたが、大連市
で経営する花き栽培公社で、
ビルの谷間に温室と畑がある
というところで、大連市が使
用する花や盆栽などを供給し
ているということでした。花
は畑に植えられているものと
ばかり思っていたら、花は全
て鉢植えになっていました。

(小松信記)



▲花き栽培公社で

歴史的な名所は少なく、む
しろ急速に工業化が進んだ都
市である。そのため街中を歩
く人を見ても何ら日本とかわ
ることはない。

人々の顔を見ただけでは中
国に来ていて感覚はないが、
彼らが話す言葉を聞いて外国
なんだと認識する。

(佐藤守)

中学で自分の進路早々と

10/14

少年宮の印象

自分の進路を中学で決めて、
その方向の勉強ということが
日本と違うところでしょうか。
「好好学习園、天天向上」の文
句につきると思います。

(横山澄夫)



▲故宮での様子

両親が共働きの子供が多く、
両親の仕事が終わる五時頃に
帰すということで、保育園の
役目もしているようです。一
人っ子政策で子供は減少して
いるが、二人っ子も検討され
ているということでした。大
連のガイドさんも「一人っ子
政策で、極端に男の子の比率
が高くなっており、将来が心
配される」というようなこと
をいっていました。(小松信記)

度とあり、漁業の生産地と
もに観光地でもある。

十四日、北京市内。故宮見
学。明の時代の永楽帝が十五
年の歳月を費やして一四二〇
年に完成させ、以後二十四人
の皇帝が暮らしたところで約
二十七畝の城内にある約一万
の部屋には百万点の貴重な財
宝が展示されている。造って
から五百七十年余り、修復さ
れているのだろうか、余り古
さを感じない。一般の人達と
は完全に隔離された故宮、当
時のさまざまな様子が脳裏を
横切る。



▲小学校で校長の話を聞く

宣武実験小学校。生徒数八
百名、教師六十名、一九一二
年に開校、首相の婦人が教師
として教壇にたった有名な学
校である。教師は公務員でな
く専門技術員、女性教師が多
く若い教師はほかの仕事をし
ながらの勤め。共産主義らし
く基本は「団結・尊敬」。



▲中国の、世界の財産「万里の長城」

事件について多くを語らず

10/14

天安門広場の印象

香港返還までの残り日数と時間がデジタルで秒針していたのがすごく印象的だった。中庭では家族連れでにぎわい、風あげに興じる大人の姿も目についた。そして西に日が傾きかけた頃、正面からのセレモニーの後、国旗の下納が近づくとその瞬間を一目見ようと人だかりが出来ていた。又、ガイドさんは一九八九年の「天安門事件」の時にここに居合わせたとだけ説明して後を語らなかった。

唯一中国で見た毛主席の写真が夕暮れの中薄暗く精彩を欠いていたように見えた。

(長沼久利)

中国民族の努力と誇り理解

10/15

万里の長城の印象

中国古代の勤労人民の知恵と艱難辛苦をありありと目の前に見せつけられた感じでした。全長五万雉以上もあるうちの何万分の一を自分の足で、一歩一歩と登り歩いているうちに、なお一層の中国民族の努力、誇りとする感覚を即発させられたような気がしました。

(横山澄夫)



▲天安門広場の状況

(佐藤守)

●旅からもどつての感想●

日本に追いつこうとする足音

香港返還にともない「一国二制度」を実現させようとする中国。高層ビルが林立する大都市と四十年前ぐらいの市民の生活。牛、バス、自動車、リヤカー、自動車の混合レースによる交通戦争。あの「万里の長城」での各国の観光客の多さ。合併企業によるビル建設。昌平県で見た植林を忘れた岩山。経済の急発展は様々な形で弊害をもたらすだろう。しかし、あの十四億の人口をかかえて改革出来るのも中国ではないだろうかと思った。日本経済の景気停滞の後を必死に追いつこうとする中国の足跡が近づいてくるように感じられた。

(長沼久利)

食で我が故郷の良さを認識

この研修を終えて、東由利のクリアな空気の中で、冷えたビールを飲む幸せをしみじみと感じ、水と空気のありがたさ、大事さを改めて認識させられました。東由利の水と空気は、永遠のものとしたいものです。

(小松信記)

●こぼれ話各種●

「千円」物売りに閉口

バスに乗ろうとして、びっくりしたことがあります。それは物売りの人達がついて来て絵の具や、扇子などを千円で買ってくれと言うのでした。知らないふりをしてバスに乗ったら今度はバスの窓をたたいて、千円、千円と言っていました。

(八嶋浩)

食生活の違いを肌で味わう

北京市内レストランに到着すると中華料理独特の臭いが。料理は油でいためたものが多く、一回食べた物は二度目ははしが進まない。進むのはビールだけであった。日本からカップメンを持って来てよかったと痛感する。

(佐藤守)

離陸と同時にトイレから

中国北方航空機で大連へ。離陸と同時にトイレから水が。しかし、それに動じず知らんふりしているスチュワーデスの態度には驚いた。私たちにとってトイレは大切な中国旅行のキーポイントになっているとも知ってか知らずか…

(長沼久利)

天安門広場。TVなどでよく見られる毛沢東主席の写真が見られる。南北に八百八十メートル、東西に五百メートルと世界最大の広場である。

十五日、万里の長城。途中明代十三人の皇帝とその皇后が眠る墓(明の十三陵)を見学。農村地帯を走る。あちこちにレンガ造りの集合住宅が見られる。道路の側には、野菜・果物などを売る農民が見られる。

紀元前五世紀周の時代に北方騎馬民族の侵入を防ぐために築いた城壁が長城の始まり。八達嶺長城は全長六千七百雉(北海道・九州間の約二・五倍)にも及ぶ。

十六日 無事帰国する。異文化圏で過ごした六日間、行く先々で言葉が通じないこともあったが、何故か気持ちいいのは通じ合えたのではなかったかと思われる。



▲万里の長城にて

平成八年度

東由利町・大内町合同

海外研修に参加して

秋田ルビコン株 畑山 豊隆さん

広大な大地、多人口の国、貧富の差が大きい国、黄河文明発祥の地、歴史の国、中国。それはまるで歴史の教科書の中に自分がいるとでも表現する様な錯覚に陥る国だった。

北京空港はかすみのかかった秋の夕空だった。空港へ降り立つと日本という駅舎の様なところになすがまま添乗員さんの後をついていき、途中、中国独特の制服を着た空港職員や中国語が自分の目や耳を通り抜けると同時に、



「ここが中国だ」と実感した次第。

中国の町並み風景、様相はあまりにも時代錯誤に落とし入れられる様なことばかり。バスの横をベンツが走っていると思えば、古い車や三輪車、あるいはトラクター車と一緒に走っている。そうかと思えば自動車ラッシュ。横断歩道がないため車の途切れを見計らったの横断が至るところで見受けられる。車はクラクションを鳴らしながら横断する人を避けて走行する。中国初日は印象深いスタートから始まった。

滞在二日目。北京空港から大連までは約一時間の航路。世界の貿易港であり、最近では工業都市として注目さえされている大連はどんな都市であろうかと思いつつ降り立つ。バスから眺める大連の都市は、いたるところでオフィスビルやホテルの建設ラッシュ。聞くところによれば二十階以下の建造物は認可されないとのことであり、町の中は人々の様相から掛け離れた高層ビルが軒並みに立設しつづける。

大連は日露戦争後日本の占領下になり上野駅に似た大連駅や日本人設計の洋風の建造物がとにかく多い。日本の文化が混在している様にさえ感じられる。大連の都市人口は五百万人、北京は一千三百万人、流動人口が二百万人とも言われており、いかに人口削減条例が大切かを物語っている。普通であれば人口の増加と比例してくるのが生活環境であるが、町中を歩いても利便性は薄い。喉が乾いてきたが、自動販

売機も見かけない。

滞在三日目、今日は満鉄、市場、労働公園（日中友好の碑）、中山大場（デパート）を見学。印象深いのは、市場で初めて中国マネー（元）を使ったこと。魚屋さんのおやじが背広を着て魚売りをしている。後で分かったことだが、背広は日本というジャンパー感覚の様子。あちこちで石炭を燃やしているせいか町の中が石炭の匂いがする。

滞在四日目、北京市内の小学校を視察。校舎はちょうど自分が小学校の頃に見た机と椅子。まるで三十年前の日本の小学校。授業の内容は日本の教育方針と良く似ており、各教科も読み方こそ違いが、国語、理科、算数、家庭、体育など全く同じ内容だった。ただ、五年生になると英語の教科が入ること。国際化社会にはやはり早い時期に英語を習得する必要があるようだ。その後、明の十三陵、博物館を視察し、夕刻に天安門に入る。

天安門に入るやいなや「天安門事件の現場か」と呟く団員がいたが、家に帰り早速いつ頃だったろうかと確認したところ、ちょうど二十年前の出来事であった。確か戦車がこの広場を走っていた様な気がする。中華人民共和国の首都北京、故宮の正門前、毛沢東と写真の掲げである東京ドームの十倍の広さとも言われる天安門広場に、今自分の足で立ち、人込みと二十年前を重ねて見ている。広場の中は写真でみたような風揚げの光景が見受けられる。

夕刻国旗の降下を告げるファンファールと共に兵隊さんが整列して立ち並ぶ。朝の掲揚時と夕刻の降下時に毎日必ず行われる儀式とのこと。民衆の中には、脱帽し起立する人々もいる。ちょっと寒いが天気は晴れ。日没と広場の風景はどことなくマッチして目の奥に焼き付けられた。

さて、いよいよ最終日。今日は自分の一番行ってみたいと待ち望んでいた万里である。早朝より移動し一路万里の長城（八達嶺）へと向かう。月からもその有様は確認できるといふ程の万里の長城。まるでへびの様に尾根をうねりながら延々と続く、敵の侵入を防ぐために造ったとされている城壁であるが、石積み数に数百万人も人が手がけたと言われる、その広大さは遠く見渡した時に恐ろしささえ感じさせられる風景である。想像を絶する状況であり、ただただ「これはすごい」の一言。

中国の人々、大地のほんの一部しか訪れることができなかったが、中国の都市、それは自分の国意識とは多少ズレがあった様に思う。未知なる可能性を秘めた国の様に感じた。百聞は一見にしかず、自分の目で見て、自分の足で土地を踏み締めたことは一生忘れ得ぬ出来事となると確信している。家に帰り、時々テレビから中国の話題が放映されると自慢げに話す今日のごとろ。出国前に予備知識があったらもっと違った見方もでき、歴史文化をもっと吸収できたであろうと感じている。

ハンガリー
演奏旅行

▲ルター教会での演奏

ハンガリーとの音楽親善を通し、
私たちが考えたことは……

歌を通じ、国境を越えた交流

十一月五日から十三日までの九日間、コルルゆらりと民謡同好会の一行三十人が、建国千百年という記念すべき年を迎えたハンガリー共和国に演奏旅行へ出かけました。これは文化交流（音楽交流）を

目的にしたものです。

異文化であるハンガリーと日本との違いにカルチャーショックを受けながら、音楽は国境を越えるのだと実感していました。以下、参加者のレポートを紹介いたします。

感謝の言葉

東中 長谷山香苗先生

ご縁あって私も一行は親善交流事業に参加させていただきました。お国柄や風土については、メンバーの皆さんが様々に感じ取った事を各方面から思い出話と共に報告することでしょう。

親善交流を通して東由利町の文化をぜひ伝えたいと願い、企画運営にあたりました。それは「なぜ東由利町なのか」を追究する旅でもありました。

次代を担う若い人達を育てる仕事をさせていただいている一員として、私はこれまでに町に息づいている健康的な文化の素晴らしさを強く感じて参りました。それは町民の皆様

の体温、あるいは血の通う音—人間の努力や知恵では決して操ることのできないもの—を実に自然に「生きる姿」として、日々新たな文化を築いておられる営みだからです。ここに感応するのは、私が数年前ハンガリーという国に出会った時の感動のリフレインのようでもありました。

一年前は全く知らない国だったハンガリーが、町民の皆様

の心の通う郷になったとしたら、幸いに存じます。このかけ橋を平和に渡ることのできる月日がいままで続くことを願っております。

最後になりましたが、私にかけがえのない、そして尽きることのない感謝の心をお授け下さいました全ての方々に

お礼を申し上げます。

音楽に国境はないと実感する

長谷山肇さん（石高）

十一月六日、いよいよ出発の日を迎えた。言葉も生活様式も全く分からない他国へ行く、不安と期待を胸に秘めながら。そうこうしているうちにハンガリーに到着、ケチュケメートへと移動した。

ホームステイは、私のお世話になる所は当初二人の予定だった。しかし、どういうわけかは知らないが、四人で泊めていただくことになった。さぞ大変なことだったろう。しかし、そんな様子は少しも見せずに心からのもてなしをしてくれた。私たち四人ともそれに甘えながらも必死で分かる様な分からない様な片言の英語と身振り手振りでこちらの意志を伝えた。多分分かってくれたと思う。

私たちのホームステイ先はお父さんと娘さんの二人暮らしであった。いろいろ話をしてくれ、私たちも日本の国のこと、我が町のことなどを話した。パパのことを日本語でお父さんというのを教えた。分かってくれた。それからはお父さんとよぶと答えてくれた。

「すばらしい、日本語が分かった！」

お互いに理解しようという気持ちがあったせいか、たった二泊だったが、すっかり心が打ち解けたように思えた。自分も韓国人をホームステイで受け入れたことがあるが、両方の気持ちが良く分かった。ケチュケメートを離れる時には各ホームステイ先の人達全員がお別れの会と見送りをしてくれた。お別れ会では全員がホテルの一室で合唱した。皆、涙、涙で歌うのが辛かった。お父さんと抱き合ってた。お父さんと抱き合ってた。よならを言った。私たちがバスに乗り、見送りの人達が見えなくなるまで手を振った。私たちは音楽を通して交流をしたが、まさに「音楽に国境はない」と実感した。本当に一生忘れられないすばらしい海外旅行だった。



△ゴッター音楽学校の生徒たちと

緊張の中にも実力出し切る

小松正二さん（下小路）

この度、二回目の海外旅行という機会に恵まれました。今回は観光とは違う演奏旅行ということで、多少緊張感を持った旅行でした。

演奏会は、ケチュケメートの教会、プタペストの文化セ

ンターの二回でしたが、緊張の中にもお互いそれなりに実力を出し切れたのではないかと思います。

コダーイ音楽専門学校では小学生たちの音楽授業を参観して、ハンガリーの合唱レベルの高さに一同うなずいたものでした。

英雄広場の、多くの英雄の

銅像を見て、大陸の国の中にあり、いつも他国に攻められ、その都度英雄が現れてこの国を救って今日に至ったのだと感心しました。

ホームステイにおいては、心温まるもてなしを受け、楽しいひとときを過ごし、忘れがたい思い出として残ることと思います。

異国で聴く日本の歌に感動

小松五緒子さん（五海保）

全てが驚きと感動の連続でした。古い歴史ある建物、石畳の道路、美しさで名高いドナウ川を挟んでのプタペストの街並み。今でも目に、心に焼き付いて離れません。

しかし、今回の旅行で一番の思い出は歌を通じたハンガリーの人々との心のふれ合

いではなかったかと思っています。ルター教会での合同演奏やホームステイ先として私たちを受け入れてくれた合唱団の方々、コダーイ音楽専門学校で学ぶ子供たち、民族楽器資料館の館長さんなど、多くの人々と出会いがありました。

異国で聞く「日本の歌」というのも印象深いことの一つでした。プタペストの子供たちが、私たちのためにと歌っ

てくれた「赤トンボ」。レストランで聞いたバイオリンでの「荒城の月」。どちらも大変感動的でした。

また私たちと同行した民謡団の民謡を聞きながら、自然に手拍子を取り「これが日本のリズム、日本の歌なんだ」と実感したものでした。

たくさんのお出会い、別れ、感動を体験した夢のような九日間の旅でした。

異国の人々が歌を通じ一つに

木島千世子さん（大琴）

ケチュケメート市はハンガリーが誇る偉大な音楽家、故コダーイの生地ということ、町のいたるところに彼の功績の跡があり、小さな頃からしっかりと音楽教育を受けている子供たちを目の当たりにし、そのレベルの高さに驚きました。

その後、私たちはルター教会にて歌を演奏しました。教会という神聖な場所というこ

ともあって緊張しましたが、新鮮な気持ちで歌うことが出来ました。そして地元的女性合唱団との合同演奏。知らない異国の者が歌を通じ一つになれるー何て素晴らしいことなんだらうと、感動を覚えるとともに、時間を共有出来たことを一生忘れることはない

と思いました。

その後のホームステイでは、ホストファミリーの方の温かさにもふれるとともに、数多くの思い出を作ることができました。彼女たちとの別れが近づくと、様々な出来事があり、胸が熱くなることも、涙が自然と流れてきました。お互いまた会えるといいねと言葉をかわし、ケチュケメートを後にしました。

遠い国の同級生たちへ

東中二年 佐藤 綾さん

ケチュケメートでは合同演奏会や、ホームステイをした市庁舎に行ったりと、色々な経験をしました。

中でもコダーイ音楽専門学校に訪問した事が、とても勉強になりました。私たちと同じくらいの歳の生徒さんの音楽授業を見学しました。初めての曲を一回で歌えたり、男の子が女の子と同じきれいな

音楽で有意義な生活を

東中三年 小松修子さん

私が一番心に残った事はホームステイです。理由は他国の人たちの生活や文化を知り、私たちはどこを改善していかなければならないかを考えるきっかけになったからです。

私の訪ねた家は、子供八人の大家族で生活していました。一人一人違った分野で、毎日音楽に親しんでいるのが分かりました。家族で演奏会ができるような雰囲気、しかも朝から鼻歌を歌っていたりして、音楽が生活のリズムになっていると思いました。それが全然違和感がなく、こんな生活出来たらなあと思いました。私たちは普段音楽を学校の

《中学生の若い二人が体験したことは？》

声で歌ったりとても驚きました。それに全員が、同じ声の質、同じ音程だったので、私もこのように歌えるように見習いたいと思いました。

私は学校を訪問して、ハンガリーは音楽的に優れている国だと実感しました。もっとハンガリーの民族音楽を合唱したり、吹奏楽で演奏できたらきっと楽しいと思います。

この旅行で学んだことや、優しく迎えてくれたハンガリーの人達を一生忘れません。

授業などではしか学ぶことができず、よく親しんでいるとは言えません。だから、どんな音楽でもまず接してみることが大事だと思いました。そして授業だけでなく、生活にも音楽を取り入れたらもっと楽しく有意義な生活ができるのではないかと思います。



▲民族楽器資料館で



▲ケチュケメート文化会館での民謡同好会



▲ケチュケメート市役所議事堂にて

ホームステイ、別れに涙

佐藤由美子さん（宇戸坂）

ホームステイ先、マリアンの家は農家で、ご両親が自宅のキノコの栽培ハウス、ブルーベリーやチェリーの広大な果樹畑を案内してくれました。ご両親の手は大きく、ごつくて、日本の農家の人の手と同じでした。真つ赤なほっぺをしたお母さんは、話しかけた後、必ずにつこり笑ってくれます。言葉を通じなくても、なんとなく言いたい事が理解できるような気がしました。ハンガリーのレストランでの食事は、私にはあまりありませんでしたが、マリアンのお母さんの手料理は本当においしくて、全部食べたのは旅行中初めてでした。

ケチュケメートを去る日、合唱団の皆さんが、見送りに来てくれました。別れの歌の交換の後、私の娘の涙を見たたん、なぜか私も大泣きしてしまいました。

たった二日間でしたが、人間はこんなにも親しくなれるんだなあと今になって気づく次第です。心温まる気配りをして下さったハンガリーの皆さんありがとうございます。

両国文化の違い、実感

杉野文子さん（横渡）

最初、お互い言葉も分からないし、歌（コーラス）や民謡などやってもどうなのかな？と半分心配でしたが、音楽は伝わるものだなあと感じさせられました。

《ハンガリーの素晴らしい面》

①建築物

歴史を感じさせる建物があちこちに。首都であるブタペストは夜景が見事で、今も目に焼き付いて離れないほど。

②仲の良い男女

男性が優しいようです。子供も三人以上が普通。

《日本との違い》

①食事に一時間から二時間もの時間をかける。

②紙不足でティッシュペーパーが一つもない。トイレトーパーも黒くて堅い物、買いたくなくても包装してくれない。

③車は日本の二、三十年前のように

④温泉はどこも水着で入る。

まだまだあげれば沢山あるでしょうが、とにかく皆さんも機会を作って行って下さい。古い時代の魅力や美しさが沢山あり、絶対に感動するはずですよ。

有意義だった演奏旅行

「ハンガリー演奏旅行報告会」



▲団長による当日の報告

十二月八日、有鄰館でハンガリー演奏旅行報告会が関係者ら三十人余りが出席して開催されました。

当日は、町長ら来賓の方々の挨拶に引き続き、代表者に

よる旅の思い出、演奏などを撮影したビデオ上映会などが行われました。参加者たちはハンガリーでの貴重な体験を互いに話し合っていました。コールゆらりの今後の活躍が期待されます。

●報告会でのあいさつより●

小松 仁さん

ハンガリーの人々の音楽を聞く姿勢が良かったのが印象的で、静かにマナー良く聴いてくれてありがたかったです。飛行機で見知らぬ異国まで行き、民謡を披露できたということは一生の貴重な体験です。

ぼくらにはパソコンは身近な道具です

高瀬小
視聴覚クラブ

マイタウンマップ
コンクールで

自治大臣賞受賞



▲喜びの高瀬小児童たち
（左下から）小松くん、畠山くん、阿部くん（左上から）佐々木教諭、八柳校長

高瀬小視聴覚クラブがパソコンで製作した「横荘鉄道を探る」が「ぼくの町わたしの村マイタウン・マップコンクール」で全国百七十八団体から自治大臣賞に選ばれました。

同クラブの阿部薫くん、小松茂晴くん、畠山聡司くんの三人が、顧問である佐々木教諭の指導をうけながら製作したもので、東由利と横手を結んでいた「横荘鉄道」を約一分間の八画面で構成した作品です。子供たちにとってパソコンは身近な道具のようでした。

二千六百七十八点もの応募

第五回高橋宏幸賞

第五回高橋宏幸賞・童話

(感想文・感想画) 秋田県コンクールの表彰式が十二月二十

二日、有隣館で行われました。今回で五回目のこの賞、

町功労者で絵本作家の高橋宏

幸先生が、平成三年度第十五

回児童文芸家協会賞を受賞し

たことにちなんで創設されま

した。

コンクールには町内外の幼

児、小学校児童より二千六百

七十八点の応募がありました。

これは昨年の千八百二十二点

の応募数を大幅に上回るもの。

関係者一同嬉しい悲鳴をあげ

ていました。昨年九百九点だっ

た入賞者も千三百三十二点に

増やしました。

当日は、関係者のほか高橋

宏幸先生も出席し、受賞者を

お祝いしました。



▲喜びの児童

レインボー賞以上の感想画は、一月十五日から三十一日までジョイフルシティ本荘店に展示されます。主な受賞者は次のとおりです。

第五回高橋宏幸賞

童話コンクール受賞者

(敬称略)

【感想文の部・小学生】

◎応募総数百四十二点

◎入賞合計者・六十九点

◆メルヘン賞・一点◆

桜庭朋美(新山)

◆ロマン賞・五点◆

田口純子(北内越) 三浦枝里

子(新山) 小松周平(八塩)

佐藤美穂(鮎川) 佐々木千恵

美(二ツ井)

◆ファンタジー賞・七点◆

小松大華(八塩) 高橋麻佑美

(岩谷) 堀瑠美子(岩谷) 畑

山知美(八塩) 佐藤舞子(鮎

川) 藤田早紀(西目) 齋藤綾

香(西目)

◆レインボー賞・十一點◆

◆入選・四十五点◆

【感想画の部・幼児】

◎応募総数二百七十八点

◎入賞合計者・百四十六点

◆メルヘン賞・一点◆

宇津野恭太(道川保育園)

◆ロマン賞・五点◆

石川香織(亀田保育園) 伊藤

裕也(ひまわり幼稚園) 佐々

木光(川添保育園) 鈴木佑季

子(同) 池田翼(道川保育園)

◆ファンタジー賞・七点◆

斎藤恭司(亀田保育園) 金森

長(同) 長谷山達也(みどり

保育園) 井島貴之(石沢保育

園) 斎藤亜佳里(小滝保育園)

伊藤悠(ひまわり幼稚園) 俵

谷一希(同)

◆レインボー賞・十八点◆

◆入選・百十五点◆

【感想画の部・小学校】

◎応募総数二千二百五十九点

◎入賞合計者・一千百十七点

◆メルヘン賞・一点◆

田口知明(北内越)

◆ロマン賞・五点◆

小笠原勇也(岩谷) 岡部ちづ

る(小友) 鈴木正明(松ヶ崎)

富樫伸也(子吉) 鈴木怜史

(大琴)

◆ファンタジー賞・七点◆

上藤雄基(子吉) 鷹嶋朋美

(鶴舞) 小松雄大(石沢) 田

口聡子(生保内) 鈴木遙(院

内) 赤間裕介(尾崎) 佐藤大

地(八塩)

◆レインボー賞・百十六点◆

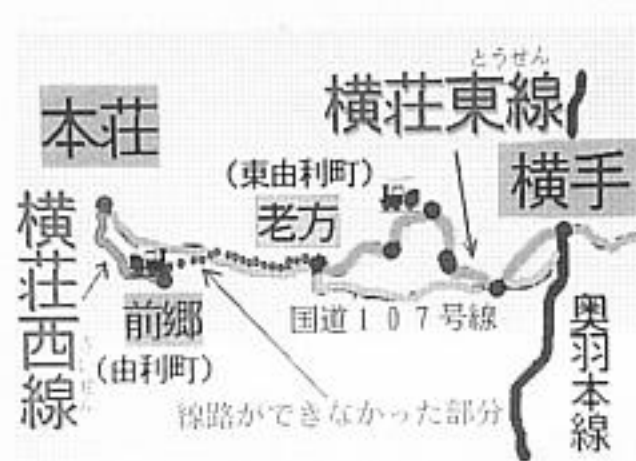
◆入選・九百七十八点◆

「横荘鉄道を探る」

画面とナレーションで紹介します。



①僕たちは横荘鉄道について調べました。(小松)



③工事は横荘東線と横荘西線に分けて行われました。(小松)



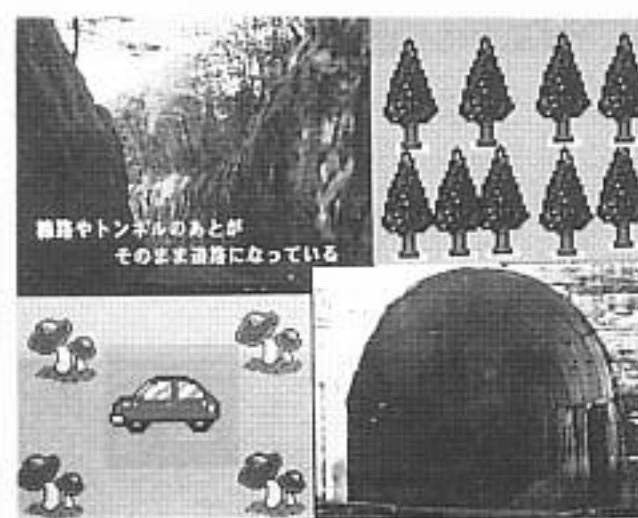
⑤東由利の老方駅は今は町役場になっています。(畠山)



⑦車の時代とともに、横荘鉄道もバス会社に生まれ変わりました。(阿部)



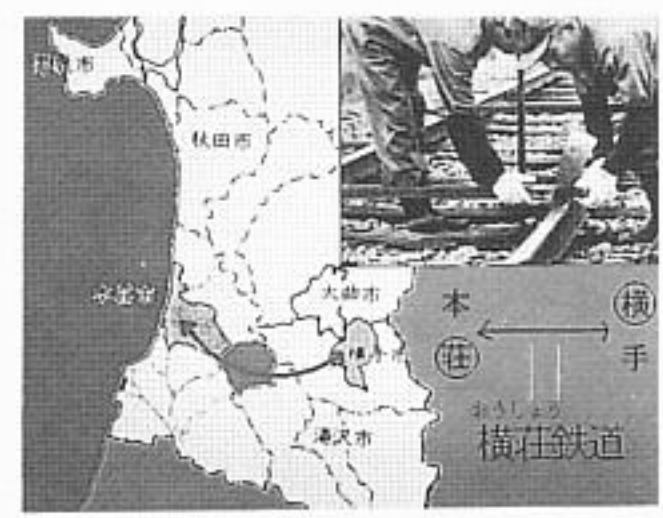
⑧今東由利に鉄道は通っていませんが、調べてみて楽しかったです。(小松)



⑥当時の線路やトンネルは今はそのまま道路になっています。(小松)



④本荘と横手はつながりませんでしたが、町の人にはよろこばれました。(阿部)



②横荘鉄道は横手と本荘を結ぶ鉄道として計画されました。(阿部)



少年座像「空の下で」完成
ゲンデルタウン推進事業の一環として町が製作を進めていた少年座像ブロンズ像「空の下で」がこのほど完成、蔵農村公園内に設置されました。

これは、玉米農村公園の「たからもの」、台山農村公園の「大地」と同じ菊地邦彦先生（宇戸坂）が製作したもので、白御影の台座の上に高さ一二五センチの少年が座っているものです。

少年像、おおくらんど見守る



▲ブロンズ像の少年

長い冬を有意義に楽しむ

家庭バレーボール交流大会

今年も十二月二日より健康増進センターで家庭バレーボール大会が開催されています。これは女性の冬期間の運動不足解消をねらい平成元年から始まったもの。家庭バレーボールのルールに基づき、ボールをビーチバレー用にしているなど独自のルールを取り入れて行われています。参加者たちは試合時間いっ

スキー場での無事故を祈願

大平スキー場オープン

地域交流の場としての役割を果たすべく、12月20日に町営大平スキー場開きが現地で行われました。当時は関係者約五十人が今シーズンの無事故を祈願しました。

町では昨年好評だった、リフト券の番号で町特産品が当たる抽選会を計画しています。また毎年行われている大平雪まつりも二月中旬に予定されています。



▲無事故を誓ったスキー場開き

和やかな雰囲気の中で

フランス鴨ワインパーティー

フランス鴨生産組合（長谷山憲一代表）主催の「フランス鴨ワインパーティー」が十一月三十日有鄰館で行われ、約百八十人が楽しみました。

会に先立ち、ソプラノ歌手の斎藤美竹さんが「野ばら」「浜辺の歌」などを披露、雰囲気盛り上げました。



▲パーティ会場の模様



▲子供たちで大にぎわい

子供たちに夢を！

第6回サンタフェスティバル

12月22日、黄桜温泉「湯楽里」中庭で、6回を数えるサンタフェスティバルが行われました。これは、弁天ほたるの会（高橋賢太郎会長）が「子供たちに夢を、町に活力を」と、毎年開催しているものです。

甘酒無料サービスを始め、ペットボトルロケット大会、サンタさんから贈り物、夜には恒例の花火という内容にたくさんの子供でにぎわいました。



▲大森町長による抽選

会場ではフランス鴨のくんせい、ソーセージ、さしみ、鴨肉の寿司や鴨汁などが振る舞われました。その後鴨肉やワインなどのほか、大琴の佐々木精人さんのバラやJA婦人部のフランス鴨なべ用セット、大森ワインなど、東由利、大森両町の特産品が抽選であたる「お楽しみ抽選会」が行われ、抽選の度に歓声が。会場内は終始和やかな雰囲気にも包まれていました。



▲お客さんに呼びかける園児たち

消防制服を着て大人の気分

園児による火災予防PR

冬は火災に気をつけましょう……と十二月二十一日、本荘のJ.C・ウエルマートで行われた火災予防PRに永慶・みどり両年長園児が参加しました。園児たちは消防制服を着てすっかり大人気分。パンフレットを配りながら「火の用心まもりましょう！」というしょうけんめい呼びかけをしていました。



園児たちのがんばった成果を発表

みどり保育園たのしみかい

12月8日に、みどり保育園でたのしみかいが開かれ、父母ら約百人余りが園児たちの歌や劇、ゆうぎなどを楽しみました。

先生たちを中心に園児たちが毎日がんばった成果の発表会だけに、園児たちの披露が終わる度に、お客さんたちから盛んに温かい拍手がおくられていました。



▲園児たちのゆうぎ



▲和気あいあいとした試合の模様

ばい歓声を上げながら、長い冬を有意義に楽しんでいるようでした。



▲参加者全員による記念撮影

屋号を元に若い親戚を知る

第八回在京宿小会

第八回在京宿小会（小笠原精治会長）が十一月二十三日、東京都北区昭和町区民センターで行われました。

集いには八十三歳から三十六歳までの幅広い年代にわたり九十二人が出席しました。本町からは小笠原教育長が出席しました。

恒例の参加者全員による記念撮影の後、祝宴が行われました。年配者の方たちは参加者名簿の実家の屋号から、若い親戚の人たちを探し出して懐かしそうに話しあいながら、久しぶりに再会した知人たちとの話に興じていました。

在京宿小会参加者（敬称略）

大琴 佐々木チヨノ、畠山ユキ、小野トクミ、佐々木通、畑山春雄、佐々木正進、佐々木安造、鈴木昭一、佐々木タエ、遊佐チエ、井出ミヨ、梅津光五郎、佐々木銀一、森米子、佐々木綾子、佐藤昇、佐々木義勝、佐々木与一朗、小松準、佐々木明夫、小野トミ子、米田綾子、佐々木恵美子、行川郁子、佐々木義晴、梅津忠、畑山喜和子、渡会トシ子、高橋ハナコ、柴山修子、佐々木昭喜、佐々木捷子、佐々木清雄、佐々木尚人、丸子紀子、佐藤トク子、菊地文子、佐々木栄男、池田成子、石綿士郎、佐々木幸男、小野忠次、石綿良夫、長岡康子、佐々木正、梅津正一、石綿良春、成沢千恵子、森田貞子、星野良子、鈴木照喜、雨谷隆清、佐々木正次、宿 鈴木コナミ、神坂昌一、小野功、小野美喜子、畠山良治、神坂重幸、神坂重則、神坂栄行、児玉浩和、幅野 小野隆司、千葉滝子、下吹 畑山運一、北島幸子、畑山良造、石川まりこ

土場沢 小笠原精治、竹市利子、伴トキ子、小野信一、小山キヌ、畑山實、小笠原房志、佐藤タキ子

高屋 佐藤和子、佐藤芳晴

沼 鈴木徳一郎、鈴木ナヲヨ、鈴木アイ、鈴木等

杉森 高橋瑞男

舟木 大庭金男、大庭秀夫

奥ヶ沢 沼田敏英、近江達雄

三ツ方森 猪股貞志

老方 宮野忠、佐藤紀夫

岩館 佐藤昭二

建設だより

除雪機械

安全祈願・除雪会議

十二月六日、役場車庫において、除雪作業の無事故を祈願する除雪機械安全祈願祭が行われ、関係者約四十人が出席しました。

その後会場を老万館に移し、除雪会議が開催されました。会議では阿部町長が「健康で事故のないような作業を行って欲しい」とオペレーターを励ましていました。

東光苑だより

◆開設十周年記念誌完成

東光苑は平成八年度で十周年をむかえ、四月には十周年記念式が行われましたが、このたび十周年を記念した記念小冊子が完成しました。

記念誌は職員たちのひとこと、東光苑利用者名簿、写真でつづる東光苑の一年間などが三十ページ余りに纏められているものです。東光苑の十年は、長寿社会を共に寿ぐ我が町の歴史でもあります。



▲入居者の前でゆうぎを披露

◆クリスマス会開かれる

十二月十八日に東光苑でクリスマス会が開かれました。入居者が集まったホールでは、保育園児の歌とゆうぎのほか、八塩小学校児童による歌と演奏、踊りなどが披露され、入居者たちを喜ばせていました。



▲除雪機械の安全を祈願

福祉だより

戦没者の遺族の方 お忘れなく

第六回戦没者遺族特別弔慰金の申請を受け付けております。現在八割の方の申請手続きは終了しておりますが、このことについてまだ申請されていない方はお早めに。なお申請期間は以下の通り。平成七年四月一日～平成十年三月三十一日まで。詳細については、役場福祉係【☎六九一・二一八】までお問い合わせ下さい。

教育だより

東中三年・佐藤裕美さん 俳句大会ジュニアの部入選

平成八年度NHK学園全国俳句大会ジュニアの部において、東中三年佐藤裕美さんが入選と決まりました。これは、全国二万四千十四句の応募から千四十六句が選ばれたもので、秋田県からは十八人が入選したものです。入賞した句を紹介します。

ぬけがらを

ふと見て思う

夏がきた

税務だより

消費税（個人事業者）の 確定申告が必要な人は

個人事業者の方で、平成六年中の課税売上高が三千万円を越える方及び課税事業者選択届出書を提出された方は、三月三十一日までに平成八年度分の消費税確定申告書を提出し、その消費税額を納付しなければなりません。なお、手続き等についてお分かりにならない点がありましたら、最寄りの税務署又は税務相談室にお尋ねください。

平成九年度・十年度教育改革 モニター募集のお知らせ

文部省では、広く国民から意見、要望等を聴き、教育改革に関する諸施策の立案・検討・具体化に反映させるため、教育改革モニターを募集しています。

応募資格は、教育改革に関心があり、モニターとしての熱意を持つ、年齢二十歳以上の方。申し込み締切は平成九年一月十七日。

申込書の請求・問い合わせは県教育庁総務課【☎〇一八八（六〇）三一一三】へ。

12月家畜市場

【東由利】

区分	頭数	平均体重	平均価格	kg当単価
合計	79	281kg	404,034円	1,438円
去勢	45	291	446,608	1,535
雌	34	268	347,477	1,297

●最高価格雌 548,990円 宮桜 安美金 第7系桜
●最高価格去 563,410円 宮桜 福谷1 益美

径 級	単 価 / 石	備 考
直材30cm上	6,500円	
24～28cm	6,350円	
14～22cm	6,240円	
13 cm 下	3,400円	
曲 り 材	2,000～3,200円	0.20～0.35石

14～22cmは完売。しかし価格は弱含みに転じている。また24cm上についても弱含み。

木材共販市況

（平成八年十一月）
45～55年生

産業だより

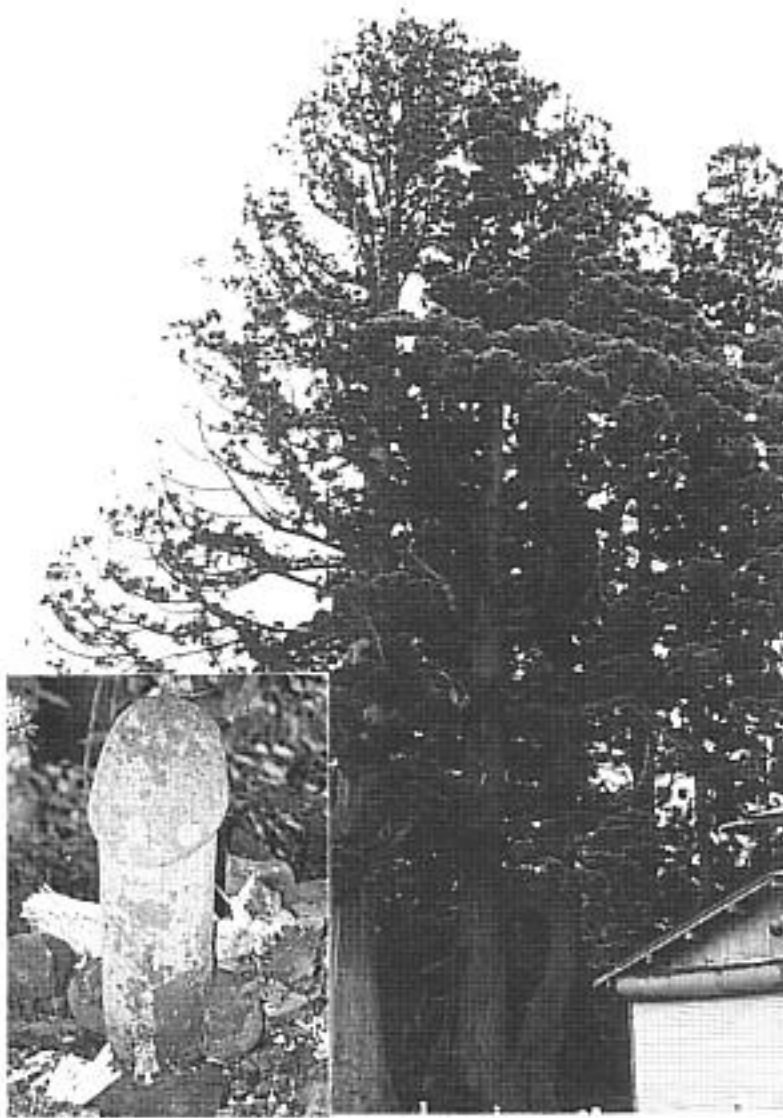
町の宝もの

57

塞の神 (松沢)

塞の神は才(歳)の神とも呼び、道祖神・幸神・斎神・塞神などと書き、村境にあつて外部から村落へ襲来する疫神や悪霊を防ぎ止めたり、追い払ったりする神で、行路や旅の神・男女の下症平癒・良縁・生殖・幼児の守護神として古くから崇敬されています。

写真は松沢集落内の国道脇にあるものです。別当は稲庭から先祖が移り住んで十三代目の高橋恒雄さんで、ご神体は石を削って作られた高さ七十センチの堂々たる石神で、移つて来るとき持つて来たと伝えられる掛軸もあり、祭りは四月十五日に行われています。



(文・畑山昭一氏)

杉は目通りの周囲四百三十三で、樹齢二百年以上と思われます。往時子宝の神として、生まれた時母の年の数だけ小石をあげたそうです。

※東由利にはこうした塞の神が多く祀られています。

林業だより

持続可能な森林経営

「持続可能な森林経営」は林業の理念であります。それが国際的に大きな話題になっています。それは熱帯林を中心とする森林破壊や森林の質の低下が進み、持続可能な森林経営が危ぶまれています。

一方では森林に対して、酸素供給、水資源、災害防止などの環境保全、保健休養などの機能や木材、林産物の生産機能など、環境と生産を合わせた持続可能な森林経営が一段と強く求めら

れるようになりました。

そのため、林業の理念はかつての「木材生産の保続」という概念から「持続可能な森林生態系の管理」に変わりました。これが国際的な重要課題になり、国連環境開発会議において、持続可能な森林経営にむけて各国が努力すると合意されました。

日本は、アメリカ、カナダ、ロシアなど十二カ国と「温帯林の保全と持続可能な経営の基準・指標」を作成して、国内での試行と評価を進めています。

(町林業懇話会長 佐藤恒悦氏)



「むし歯の治療は、痛くならないうちに！」

昨年の九月初め、本校の全生徒を対象に、「歯科保健」に関するアンケートを実施しました。回収率は、九七・七%とほぼ全員の回答を得ることができました。

特に、私が興味深かったのは、歯の受診・治療についての項目でした。というのも、毎年治療完了カードが返ってくるのが十枚以下と未受診者が多い状態にあったからです。結果は、治療勧告を受けた生徒で、治療を済ませた生徒、治療中の生徒合わせても十九・六%とやはり低い治療状況でした。

また、治療しない理由としては「痛まないから」、「クラブが忙しくて」が上位にあげられていました。多分、大部分の生徒は治療勧告の通知をもらっても、今、痛まないのだから、部活動を休んでまで歯医者に行こうという気にはなれず、一年二年とそのままに過ごしてきたのだらうと思います。

しかしながら、むし歯は他の病気のように自己治療力で直せるものではなく、放っておけばお口ほど、病気の程度が進行してしまう病気です。

今後も、機会ある毎に受診の必要性を啓蒙するとともに、生徒自身に「痛まないうちに受診する」気持ちを持たせたいものです。また、部活をやりながら、治療できる学校の環境づくりも、大切な事なのではないかと思いました。

(東由利中学校・佐々木かつ子先生)

虫歯なんてないもーん。

1歳6カ月健診

() 内は保護者



畠山夏葉ちゃん
袖山(孝さん)



小野寺琢哉くん
板戸(武夫さん)



大塚達貴くん
板戸(茂さん)



畠山由貴ちゃん
上通(繁光さん)



長谷山杏奈ちゃん
時雨山(宗市さん)

趣味の
サークル紹介
No. 8

東由利町書道クラブ
(書道)

月二回、小松忠正さん(下通)宅の二階で開かれていた書道練習会。練習会におじゃましてお話を伺いました。いつから始まりましたか? 「ざっと二十年になるでしょうか。最初公民館で始めましたが、商工会館、公民館、朋楽荘などを経て、ここに落ち着いています」
現構成を教えてください。
「現在の構成は十七人です。」

その内訳は男二人、女十五人となっております。二十一歳から七十四歳までの幅広い年齢層が頑張っております」

書道の魅力はなんでしょう。
「自分の静かな時間が持てるということがあります。書の世界は奥深いもので、味わいなどがあり、心が穏やかになるのではないのでしょうか。これは誰でも持っているものだと思います」

今後の抱負を教えてください。
「これからも皆と一緒に勉強できたらと思っています」

みなさんとても熱心でした。これから頑張ってください。

私の
一冊

小学生の時、興味があつたので買った本です。

内容は夏休みに主人公とその仲間たちがガラクタを利用して競馬の予想をする機械を発明しようと頑張る、アイデ



ズッコケ発明狂 / 西村正幹 / ポプラ社・刊



東由利中1年 小松 博昭くん

アあふれた話です。ちなみに、このハチペイとハカセ、モーちゃんの三人組が活躍する物語はもう三十冊近く発売されている人気シリーズです。

僕はあまり本は読みませんが、これから冒険記のような物語を読んでみたいです。ひとこと 角川文庫の「ぼくらの：シリーズ」もお勧め

新着本紹介

公民館図書室より
今月もたくさんのお本が入荷しました。ご利用ください。

- ◆日本の論点 97
- ◆逆説の日本史・一・四
- ◆家庭医学大事典
- ◆ユネスコ世界遺産 イミダス 97
- ◆秀吉下
- ◆知恵蔵 1997
- ◆隆一の凄絶アトピー日記
- ◆二十世紀
- ◆日本地名大百科
- ◆マンガ日本の古典・四
- ◆アドルフに告ぐ・全五巻
- ◆哲学への回帰
- ◆幸せの記憶 上・下
- ◆ボスニアで起きたこと
- ◆渡辺淳一全集 第一巻



▲書道クラブのみなさん

◆東由利の文芸◆

せせらぎ句会

長き夜や自分史に耽ける夫と居て 阿部 ナミ (蔵)

こつ酒に鱗もこぼる雪の宴 嵯峨 義之 (秋田市)

晴天の二日続かず北塞ぐ 小松 順之助 (中通)

パッチワーク針のなじめぬ夜寒かな 小野 石路子 (上里)

シヨベルカー憩う凍土に爪立てて 小松 正昭 (家ノ下)

傾きし碑埋めて落葉舞う 小松 忠正 (下通)

白鳥の嘴の感触手のひらに 小松 女沙 (下小路)

集落をこまめにバスや掛大根 高橋 薫青 (舟打場)

孫の居る東京へ先ず今年米 大庭 喜右エ門 (舟木)

冬支度あせる手もとに昏せまり 小松 良子 (久保)

イベントも終り過疎地の冬籠り 遠藤 トミ子 (小倉)

おでん種自家生大根山盛りに 佐藤 正義 (湯出野)

冬田道工事最中の杭並ぶ 小笠原 トミ (蔵新田)

着ぶくれて小座敷で足るクラス会 小野 貞子 (蔵新田)

冬の雲湖面に置きて静かなり 小笠原 亮子 (蔵新田)

忘年会連れ立ち行くや湯の町へ 吉川 葉子 (時雨山)

休耕田や荒野のごとく冬に入る 菊地 常作 (湯出野)

末っ子のお歳暮届く極の月 小松 徳蔵 (湯出野)

戯れて子はじゃんけんで炬燵たとる 阿部 澄子 (蔵)

金毘羅の山茶花群るる裏参道 嶽石 レイ (五海保)

割り箸を手に手に待つや闇夜汁 阿部 俊子 (横渡)

冬夕焼点となりゆく山鴉 高橋 ヒデ子 (横渡)

アイドルをさがせ!

〈宮ノ前〉

あずさ 大日向 梓 ちゃん (3歳)
お父さん 男さん
お母さん 睦 子さん



▲緊張しています

「特別な手のかからない、元気で明るい子供です」
好きなものは何ですか?
「食べ物には牛乳と納豆ご飯です。ビデオが大好きで朝から晩まで見ています。私たちがテレビを見られないです。父親が特に好きなようです」
最近困っていることは?
「外に出るとあちこちに隠れて、呼びかけても返事をしないのが困ります。大切な孫にもしものことがあったらと将来どんなお子さんに?」
「元気のいい明るい子に」
(談/祖母・フサさん)

生徒会長

生徒会長として



下郷分校2年
遠藤 歩 さん

12月2日に教頭先生から任命証をいただき、晴れて生徒会長になりました。しかし、実のところ選挙が近くなるまで生徒会役員は私には全く関係のない存在だと思っていました。でもそのうち、誰かがやらなければならないのなら私がやろう、役員として頑張ってみよう、できるなら会長をやってみようと思うようになりました。それが今ではもう現実となりました。

実際に会長になってみて、これといった変化もなければ緊張感もありません。今後も私らしくありたいと思っています。けれども、責任感だけはしっかり持っていきたいと思います。また、充実した生徒会活動ができるように役員みんなと協力していきたいとも思います。

これから一年間、今まで先輩たちが築いてきたよき校風を引き継ぎ、さらに活気にあふれる生徒会にするよう、他の役員と一丸となって一生懸命頑張りますので、どうぞよろしく願います。

「スタンドで毎日頑張っています」
最近凝っていることは?
「友人と本荘等に行ってカラオケです」
趣味は何ですか?
「読書です。特に歴史もの(三国志など)はマンガや小説をよく読みますね」
どんな性格ですか?
「短所はあきやすいこと、長所は人見知りしないで話せること」
今やりたいことは?
「仲間たちとバスケットかな」
尊敬する人は?
「三国志に登場する諸葛孔明です」
町に望むことは?
「買い物が不便なので大きな店を」
親に一言お願いします。
「体に気をつけてください」
●広報担当から 突然の依頼に対して快く応えてくれて感謝します。これから冬本番ですが寒さに負けず長谷山所長を中心に仕事を頑張ってください。



高橋 和久さん
(智者鶴・19歳)

(株)テラセキ東由利SS勤務

フレッシュリレー

仕事の内容は?
「フロントでお客様を迎えています」
どんな性格でしょうか?
「優柔不断で、マイペースですね」
最近凝っていることは?
「雰囲気の良いレストランや喫茶店巡りです。あちこちに行きますよ」
趣味やこっている事はなんですか?
「ドライブです。知らない道を通るのが好きです。あと絵本を集めたい。母が絵本を読んでくれたのが影響しているかな」
理想の男性像は?
「頼りがいがある優しい人」
将来の夢は?
「月並みですが、幸せになる事ですね」
親に一言どうぞ
「あまり無理をしないでください。いつか京都に連れていきます」

●広報担当から ふんわりとした優しい雰囲気を持っている人だと思いました。お母さんが本好きで色々話をさせていただきました。



遠藤 智里さん
(新処・21歳)
黄桜温泉「湯楽里」勤務

電話を

くまの親子がほっとけーきを作りながら楽しい会話をしている本です。何冊かシリーズがあるうちの1冊です。

現在おやつはお店で売っていますが、時間があれば、たとえ形が崩れていても、焦げていたとしても素朴な手作りおやつをつくってみてはいかがでしょうか。何かを作るこ



しろくまちゃんのほっとけーき / わかやま・けん / こぐま社・刊

とが創造力をふくらませることにつながると思います。台所は子供にとって決して安全な場所ではないんですが、いじってみたいものはたくさんあるんですね。料理を作る姿はさながらままごとのように見えたかも。「これなあに?」とのぞきこむ気持ちを大切に、台所を子供に色々な事を話したり教えたりする場所にしてはどうでしょうか。
(紹介者・小野邦子さん)

1月→データ東由利

〈11/1～11/30〉

住民基本台帳人口 () は前月比

■男	2,627人 (△4)
■女	2,761人 (△3)
■計	5,388人 (△7)
■世帯数	1,407戸 (2)

() は1月からの累計

・出生	5人(29)	・死亡	6人(64)
・転入	9人(87)	・転出	7人(140)

■火災出動	0件(4)
■救急出動	10件(77)
■交通事故	0件(8)
・死亡	0人(0)
・傷者	0人(13)
■飲酒運転	0人(1)
■酒気帯び	0人(2)

カレンダー 1月の行事

- 4 住吉分館座談会 (八塩館・13:30～)
- 5 宿分館座談会 (高瀬館・9:30～)
蔵分館座談会 (大蔵館・13:30～)
- 6 消防出初式
- 7 玉米分館座談会 (玉米会館・9:30～)
老方分館座談会 (老方館・13:30～)
- 8 袖山分館座談会 (袖山館・13:30～)
- 18 法内分館座談会 (克雪管理センター・13:30～)
- 20 ことぶき大学
- 24 農業委員会

東由利

郷土の野草

No. 143



ナズナ

(アブラナ科)

文・写真
小松忠正氏

春の七草の一つ、田畑や路傍など、どこにでも生える繁殖力旺盛な二年草ですが、最近あまり見かけなくなりました。(写真茂沢) 根出葉は束生し、草丈は三十センチくらい、春に四弁の白花を総状花序につけ、花後、三味線のバチのような形の実をつけるため、シャミセングサ、ペンペン草ともいいます。全草を乾燥させ、煎じてそれをガーゼで濾し眼の充血の時、脱脂綿で洗眼するといわれています。春の七草「セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ(カブ)、スズシロ(ダイコン)」これぞ七草。

戸籍の窓口

(11/21～12/20届出)

●お誕生おめでとう

遠藤 光平くん 益明子 五海保	高橋 勇貴くん 康子 須郷	高橋 星ちゃん かずえ 横小路
-----------------------	---------------------	-----------------------

●ごめい福をお祈りいたします

小松慶治郎さん(94・敏雄父) 高戸屋	小野 熊蔵さん(77・タエ父) 新町	佐々木 茂さん(72・繁一父) 大琴	畑山喜五郎さん(75・ハマ夫) 五海保
---------------------	--------------------	--------------------	---------------------

広報クイズ

(モウ太くんをさがせ)

問町のイメージキャラクター「モウ太くん」。今月はどこにいるかな? ヒント今回はめだっているかな?

はがきに答え、住所、氏名、年齢、広報へ要望、感想などを書いて東由利町役場広報へ。締切は一月二十日です。抽選で豪華景品を差し上げます。

先月号の答えはP7でした。佐藤啓さん(秋田市)、長谷山貴博さん(田代)、千葉鉄男さん(尼崎市)、小松智宏さん(柴倉)、斎藤九四郎さん(岩城町)が当選しました。おめでとうございます。

まごころ

町社会福祉協議会に佐藤 さん(寺田)、佐々木シカさん(横小路)、大坂イヨさん(下通)、遠藤重和さん(本莊市)、武田重雄さん(須郷)、小松敏雄さん(高戸屋)、玉米カラオケ同好会からご芳志が届けられました。

広報送付の謝礼として石綿良夫さん(豊橋市在住・大琴出身)、在京宿小会、小野忠昭さん(狭山市在住・大琴出身)、小笠原米吉さん(秋田市在住・祝沢出身)、藤原淳悦さん(静内町在住・上通出身)、伊東英夫さん(本莊市在住)から金一封が届きました。ありがとうございます。

ほっといっき

あけましておめでとうございます。昨年度はみなさんに取材などで大変お世話になりました。本年も広報担当をよろしく願っています。

さて、先月一番印象深かったのは、高瀬小視聴覚クラブでした。改めてパソコンとは単なる道具であって、それで何ができるかという事が大切なんだと小学生たちに教えられたような気がしたのです。自分もパソコンを使って何か作ってみることを今年の目標にしようかな。